

「IT・エレクトロニクス×地域活性化百選」発行

目的と概要

今、世界中で大きなうねりとしてIoTが注目されていますが、日本でも、実世界（フィジカル空間）とサイバー空間の情報連携により新たな付加価値を作り出すサイバーフィジカルシステム(CPS)の推進が期待されています。

地域経済・社会との連携による当業界の地方創生へのさらなる貢献が期待される中、さらなる地域活性化のためにも、CPS/IoTの推進が不可欠であることから、昨年11月、当協会会員企業の先進的な取り組み事例を取りまとめ、『IT・エレクトロニクス×地域活性化選～CPS/IoT社会に向けて』を発行しました。一昨年11月に発行し、各方面で大変ご好評いただいております百選の第2弾となります。

今後、政府や地方自治体など関係各所に広く配布するとともに、一昨年12月に当協会内に設置している「地域活性化TF」において、政府の政策と連携しつつ、地域活性化事例の情報発信や大企業と中小企業のマッチング事業など具体的に実施し、地方活性化を積極的に後押ししてまいります。



構成

① IT・エレクトロニクス活用による地域活性化に向けた取り組み事例 [by IT]

6分野、77件を取り上げています。分野や地域の特性に合わせ、先進的で幅広いIT・エレクトロニクス技術が利活用され、社会的効果の高い投資活動が行われることで、既存産業が競争力を持った魅力ある新産業に生まれ変わります。

② 地域経済を支えるIT・エレクトロニクス企業の事例 [of IT]

各社の研究開発拠点・生産拠点など23件を取り上げています。県市町村との連携、大学等の共同研究・若者の技能向上、地域振興イベント等を通じた地域との連携により、地域経済の進化と雇用の拡大に貢献しています。

③ CPS/IoTへの取り組みから見えてくる新たなニーズ

JEITAで発行している「実装技術ロードマップ」(2015年6月に第9版目)のうち、「メディカル」「エネルギー」「モビリティ」を取り上げ、上記(1)で掲載している事例と関連する内容をピックアップし、企業の新たなニーズを掲載しています。

JEITA HPから全ページをダウンロードできます。

<http://www.jeita.or.jp/japanese/local2/>